

りょういき
＜領域：こころとからだのしくみ＞

にんちしょう りかい
認知症の理解

もんだい つぎ きじゆつ にんちしょう ひと もうそう せつめい
問題 81 次の記述のうち、認知症(dementia)のある人にみられる妄想の説明とし
もつと てきせつ えら
て、最も適切なものを1つ選びなさい。

- じぶん わす もの み だれ ぬす おも こ しつともうそう
1 自分でしまい忘れた物が見つからず、誰かが盗んだと思い込むのは、嫉妬妄想で
ある。
- まご あ はなし まご あ しゅ
2 孫と会って話をしたにもかかわらず、孫にずっと会わせてもらえていないと主
ちょう しょうこうぐん
張するのは、カプグラ症候群である。
- かいごしえんせんもんいん つま はな み つま うわきあいて
3 介護支援専門員(ケアマネジャー)と妻が話しているのを見て、妻の浮気相手だと
おも こ まぼろし どうきょにん
思い込むのは、幻の同居人である。
- かぞく みぢか ひと に にせもの い か しゅちょう ひがいもう
4 家族など身近な人がよく似た偽物と入れ替わっていると主張するのは、被害妄
そう
想である。
- しんたいてきしっかん じぶん びょうき おも こ しんきもうそう
5 身体的疾患がないにもかかわらず、自分が病気だと思い込むのは、心気妄想であ
る。

問題 82 次の記述のうち、認知症(dementia)の人への取り組みとその説明として、
最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 本人ミーティングでは、当事者たちが語り合い社会に発信も行う。
- 2 認知症初期集中支援チームは、要介護認定を行う。
- 3 若年性認知症支援コーディネーターは、認知症(dementia)の診断を行う。
- 4 認知症疾患医療センターは、地域ケア会議を開催する。
- 5 認知症カフェは、認知症介護指導者を養成する。

問題 83 次の記述のうち、認知症(dementia)の行動・心理症状(BPSD)に該当
するものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 10分前に施設職員が挨拶しに来たことを、覚えていない。
- 2 病院にいるのに、自宅にいると思っている。
- 3 通所介護(デイサービス)を利用中に、出口を探して歩き回る。
- 4 薬を処方されても、服薬管理ができない。
- 5 入浴を促すと、湯につかるだけで出てくる。

問題 84 次の記述のうち、アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's
type)の説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 古い記憶から障害され、徐々に新しい記憶も障害される。
- 2 認知機能が変動することが特徴的である。
- 3 ADL(Activities of Daily Living:日常生活動作)の障害は、重度期以降に認められる。
- 4 見当識障害は、中期以降に認められる。
- 5 記憶障害は、初期から認められる。

問題 85 次のうち、レビー小体型認知症(dementia with Lewy bodies)の症状として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ノンレム睡眠行動障害による大声
- 2 自律神経症状による起立性低血圧(orthostatic hypotension)
- 3 聴覚認知機能の障害による幻聴
- 4 側頭葉の萎縮による意味性失語
- 5 嚥下機能の促進による食欲増加

問題 86 次のうち、認知症(dementia)の人の生活をアセスメントするうえで、身体的要因に含まれる項目として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 性格
- 2 居住環境
- 3 人的環境
- 4 IADL (Instrumental Activities of Daily Living : 手段的日常生活動作)
- 5 社会とのつながり

B

パ

ー

ト

もんだい にんちしょう ひと かんきょう はいりよ かん つぎ きじゅつ もっと
問題 87 認知症(dementia)の人への環境の配慮に関する次の記述のうち、最も
てきせつ えら
適切なものを1つ選びなさい。

- 1 視覚的認識を容易にするために、廊下の手すりに色をつけて目立つようにする。
しかくてきにんしき ようい ろうか て いろ めだ
- 2 聴覚に影響を与えるために、ピクトグラム(pictogram)を表示する。
ちょうかく えいきょう あた ひょうじ
- 3 音の選択的聴取の力を高めるために、BGM(background music)の音量を大
おと せんたくてきちょうしゅ ちから たか おんりょう おお
きくする。
- 4 穏やかに生活するために、居室の光の刺激を強くする。
おだ せいかつ きょしつ ひかり しげき つよ
- 5 落ち着く空間をつくるために、居室を細かい模様の壁紙で統一する。
お つ ぐうかん きょしつ こま もよう かべがみ どういつ

もんだい つぎ きじゅつ にんちしょう ひと すいこうきのうしょうがい しょうじょう
問題 88 次の記述のうち、認知症(dementia)の人の遂行機能障害の症状として、
もっと てきせつ えら
最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ご飯を食べたことを忘れて、ご飯をほしいうと言う。
はん た わす はん い
- 2 包丁の使い方を忘れて、うまく使うことができない。
ほうちょう つか かた わす つか
- 3 食事が配膳されているが、左側のものを残す。
しょくじ はいぜん ひだりがわ のこ
- 4 調理の手順を順序だてて行うことができない。
ちょうり てじゆん じゆんじょ おこな
- 5 皿の模様をおかずと間違えて、スプーンですくおうとする。
さら もよう まちが

問題 89 Aさん(75歳, 男性)は, 認知症(dementia)で, 通所介護(デイサービス)を利用して^{りよう}いる。介護福祉職が, 「今日は何月何日でしょうか」と聞くと, Aさんは, 「9月」と答えた。介護福祉職が, 「今朝, Aさんの家の庭にあじさいが咲いていま^さしたね」と言う^いと, Bさんが, 「あじさいが咲くのは6月?」と答えた。介護福祉職は, 「そうです。今日は6月22日です」と言い, ホワイトボードに日付とあじさいの絵を描いた。介護福祉職が, 「6月生まれの方はいますか」と聞^きくが, 返事がない。介護福祉職は, 「今日は6月22日ですが, あと3日でAさんの誕生日です^{たんじょうび}ね」と伝えた。

次のうち, 介護福祉職が実施した技法として, 適切なものを1つ選^{えら}びなさい。

- 1 タッチケア(touch care)
- 2 アートセラピー(art therapy)
- 3 リアリティ・オリエンテーション(reality orientation)
- 4 ライフレビュー(life review)
- 5 グリーフケア(grief care)

問題 90 Aさん(88歳, 女性)は, 4年前に, 認知症(dementia)と診断された。在宅で長男が介護している。Aさんは, 3か月前から, 何度もトイレ以外で排泄しようとする様子がみられた。長男が繰り返しトイレの場所を教えているが, 状態は変わらない。長男はAさんに対して, 「何回, 同じことを言ったら, わかるんだ」と大声でどなってしまい, その後で落ち込むようになった。また, 長男は, 「認知症(dementia)がいつまで続くのか」「自分に何か問題があったのではないか」と言って, 自分を強く責めている。

次のうち, Aさんの認知症(dementia)を長男が受け入れる過程と考えた場合, このときの長男の心理的特徴に該当する段階として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ショック期
- 2 否認期
- 3 混乱期
- 4 解決への努力期
- 5 受容期